「佐賀市立図書館大規模改修基本構想・基本計画（案）」に関するご意見と市の考え方

| No. | ご意見の概要 | 市の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | 主な賛同意見<br>（１）アンケート等時間をかけて意見を集め、市民の声を拾っている。<br>（２）「体験価値発想での新しい図書館づくり」「図書館なのに公園みたいに過ごせる場所」等の様々なキーワードに共感できる。<br>（３）公園等の周辺空間のポテンシャルをより活かせられそう。<br>（４）改修後の運営の質が、ハード・ソフト両面で高まることが期待できる。 | |
| 2 | 開架率を下げることに対する懸念<br>（１）本の検索・選書の手間が増えて利用者と職員の負担が増えるのではないか。<br>（２）本に囲まれている安心感や資料を求める気持ちを削ぐことになるのではないか。<br>（３）図書館としての役割を損なうことにならないか。<br>（４）現在の書架スペースに現在の所蔵数を収容できるか疑問。所蔵数が減るのではないか。<br>（５）設備導入により、ランニングコストが上がらないか。<br>（６）一階と二階の分断を懸念する。<br>（７）本との偶然の出会いの機会が減るのではないか。<br>（８）閉架書架にアクセスしにくい事態にならないか。 | 当館の所蔵数４２万冊については、全国の公共図書館と比較しても、敷地面積に対して妥当な冊数と判断します。<br>一方で当館の開架率９４％は、全国の公共図書館の平均開架率５４％を大きく上回っています。<br>本市は、今後も現在の所蔵数の維持を考えていますが、本計画の目指す姿「自由に、のびのびと、気持ち良い時間を」過ごせる環境を整えるために、開架書架と集密性の高い閉架書架の組み合わせによる閲覧スペースの拡張を行います。併せて、資料展示の工夫などにより、書籍の配置の柔軟性を生み出したいと考えます。<br>また、開架率の調整に関するそれぞれの懸念については、次のとおり回答します。<br>（１）デジタル機器の積極的な導入により、検索効率が上がるとともに、特にＩＣタグの導入により貸出等の窓口業務の負担や蔵書管理の手間が大きく軽減されることが期待でき、司書職員が選書作業に専念できる時間が増えることや、レファレンスの拡充による選書支援の充実等、利用者、従事者双方のサービス向上に繋がるものと考えます。<br>（２）全体の所蔵数は維持し、閉架書架は公開型等いろいろな運用形態の導入を検討します。また表紙（タイトル面）を見せる配置などの工夫により、来館者の興味をより強く引きたいと考えます。<br>（３）本計画では、今ある余剰スペースの活用を含めて、本に触れる体験を創出し、「本を好きになるきっかけ」を数多く |

| | | |
|---|---|---|
| | | 生み出すことを目指します。所蔵数の維持、レファレンスの拡充による選書支援の充実など、更なる図書館サービスの向上を図りたいと考えます。<br>（４）現在の蔵書数の維持に向けて、既存の書架スペースだけでなく、今ある余剰スペースの活用や各部屋の配置見直しなどにより、十分な収蔵スペースを確保したいと考えます。<br>（５）改修後のランニングコストも踏まえた上で、費用対効果が最適となるよう検討してまいります。<br>（６）設計工程において、ご来館いただく皆様が快適に利用できる環境に向けた検討を図ってまいります。<br>（７）本に触れる、本を好きになるきっかけとなるイベント等、様々な「体験」を設けて、本との偶然の出会いを促す工夫を図りたいと考えます。<br>（８）設計工程において、閉架書架へのアクセスが課題とならないよう配慮したいと考えます。 |
| 3 | 開架率を下げて生まれた空間をつくって何をするのでしょうか。 | これまでの本の貸し借りが中心の施設から、ゆっくりとくつろげる滞在型の場として整備してまいります。<br>また、本を好きになるきっかけを生み出す様々な「体験」として、“アウトドアやスポーツとの連携”、“本に関わる様々な業界との連携”、“映画や音楽など他ジャンルとのコラボ”などを検討してまいります。 |
| 4 | 開館時間を拡大して欲しい。 | 建物の大規模改修が目的ですが、あわせて管理運営面についても検討してまいります。 |
| 5 | 現在使用されていない人工池を改善して欲しい。 | 需要・用途・費用対効果等の多角的な要素を研究して、必要に応じて検討してまいります。 |
| 6 | Ｗｉ-Ｆｉ環境を改善して欲しい。 | Ｗｉ－Ｆｉ環境については、閲覧室・会議室等の滞在用スペースの見直しに合わせて、使用できるエリアと通信強度の拡充を検討したいと考えます。 |
| 7 | 貸出履歴等を館内サーバーできちんと管理して欲しい。 | 図書館が保有するシステムやデータについては、サーバーの外部設置を含めてより安全性の高い環境を検討します。なお、貸出履歴は利用者のプライバシーに関する内容のため、履歴の |

| | | |
|---|---|---|
| | | 保存に同意すれば利用者自身がホームページから確認することができますが、図書館職員は確認できないようになっています。 |
| 8 | 「青空の下、公園でも図書館の本を読める」とあるが、どのようなことを想定しているか。資料の紛失・汚破損に繋がるのでやめて欲しい。 | 貸出手続きの住んだ資料を屋外で読めるような環境づくりを考えており、例えば椅子の貸し出しなどを想定しています。 |
| 9 | 市民の意見だけでなく、図書館側の意見やニーズは反映されているか。 | 本計画は、図書館職員を含めて市の意見・ニーズを複数年に渡って積み重ねた内容に、市民の要望を重ね合わせたものとなっております。従って、現場で働く者にとっても働きやすく、やりがいのある図書館になると考えます。 |
| 10 | 団らんやくつろぎを体験できる「図書館なのに、公園みたいに過ごせる場所」については、図書館だけで全てを実現しようとするのではなく、他施設との連携によって市民それぞれの文化的満足度を高めるべきと考える。 | 本と関わりのある体験が提供できるよう、他の部署や周辺施設、様々な団体との連携を図ってまいります。 |
| 11 | 図書館としての本来の機能を損なうような改修により、何の施設かわからない中途半端になる恐れがある。来館者の８割が満足しているというデータと市民意向調査で図書機能の充実が上位にあることを踏まえた改修にして欲しい。 | 本計画は、30 年前に求められた図書館の機能を、現代に合わせて更新・拡充するものです。これまで利用したことのない市民の方に興味を持ってもらえるような取組だけでなく、既存の利用者満足度の維持・向上も図ってまいりたいと考えます。 |
| 12 | 利用者情報に基づいた検討は行われているか。少ない利用者層へのアプローチを考えるべき。 | 業務統計やアンケート等による利用者分析を毎年行っています。親子連れでの利用が最も多く、若年層の利用が少ない傾向にあることから、若年層の新たな利用を促す仕組みづくりが必要と考えます。 |
| 13 | 司書職員の待遇改善や正規雇用、質の高いサービスの維持を希望する。 | 人材確保・育成については、課題の一つと捉えています。<br>自動貸出機の増設やＩＣタグの導入等により、窓口業務や蔵書管理の負担軽減を図り、質の高いサービスの提供に努めます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 14 | 施設の樹木・花の手入れが行き届いていない現状を改善して欲しい。 | 樹木等の維持管理は、限られた予算の中で必要な維持管理ができるよう、効果的な運用を図ってまいります。 |
| 15 | 施設や設備に関する意見や要望<br>（１）読書バリアフリーの観点から、低い書架の導入や広い通路を望む。<br>（２）北駐車場からの動線の改善<br>（３）トイレ環境の改善<br>（４）閲覧・開架スペースの質的改善<br>・圧迫感のない書架<br>・２階への動線の見直し<br>・照明を明るくして欲しい。<br>・会議室等の配置の見直し<br>・ゆったり座れるイスやソファを増やして欲しい。<br>（５）児童コーナーの改善<br>（６）隣接する公園から図書館までの連続性のある空間整備 | 施設や設備に関するご意見やご要望については、利用者の皆様が快適に使える環境を目指して、今後の設計工程で検討、反映してまいります。 |